

熱中症による救急搬送の状況及び予防啓発の取組について

救急企画室

1 はじめに

消防庁では、平成20年から全国の消防本部を対象に熱中症による救急搬送人員の調査を行っており、調査開始以降最多の救急搬送人員を記録した令和7年には全国で100,510人の方が熱中症により救急搬送されています。令和8年は、5月1日から8月16日までに63,439人（※速報値）の方が熱中症で救急搬送されました。今回は、今年の熱中症による救急搬送の状況等について詳しくご説明します。

2 熱中症による救急搬送状況

① 年齢区分別の救急搬送人員（図1）

5月1日から8月16日までの熱中症による救急搬送人員の合計63,439人のうち、高齢者が38,146人（60.1%）と最も多く、次いで成人19,693人（31.0%）、少年5,252人（8.3%）、などとなっています。約6割を占める高齢者は、暑さやのどの渇きを自覚しにくいなど体の変化に気づきにくい傾向があるため、周囲の方がこまめに声をかけて、水分補給や暑さ対策などの予防行動を促すことが大切です。

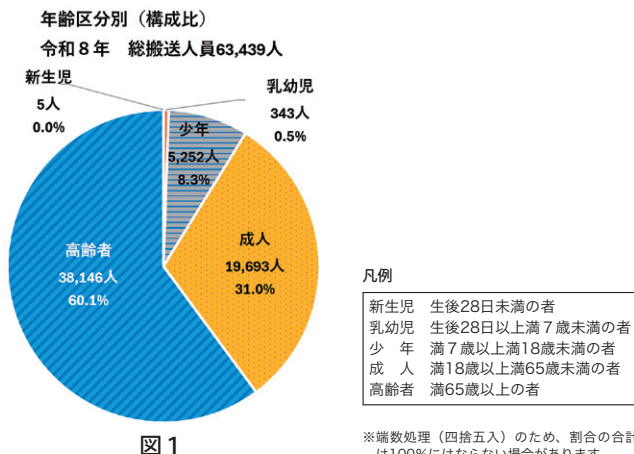


図1

② 傷病程度別の救急搬送人員（図2）

5月1日から8月16日までの熱中症による救急搬送人員の合計63,439人のうち、軽症が37,579人（59.2%）と最も多く、次いで中等症23,617人（37.2%）、重症1,781人（2.8%）、死亡108人（0.2%）などとなっており、入院が必要となる中等症以上と診断された搬送人員が約4割を占めています。熱中症の症状は、年齢や持病など傷病者背景の違いにも影響を受け、刻々と変化します。中には、短時間で重篤な状態に陥る場合もありますので十分に注意が必要です。

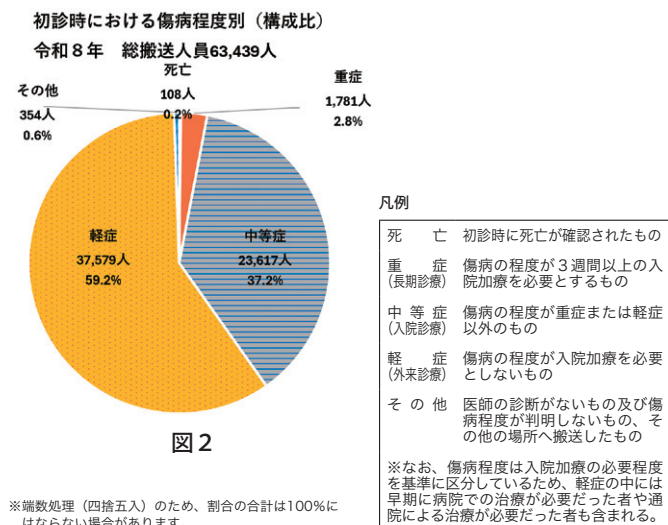


図2

③ 発生場所別の救急搬送人員（図3）

5月1日から8月16日までの熱中症による救急搬送人員の合計63,439人のうち、住居が25,732人（40.6%）と最も多く、次いで道路13,174人（20.8%）、公衆（屋外）6,852人（10.8%）、仕事場①5,809人（9.2%）などとなっています。

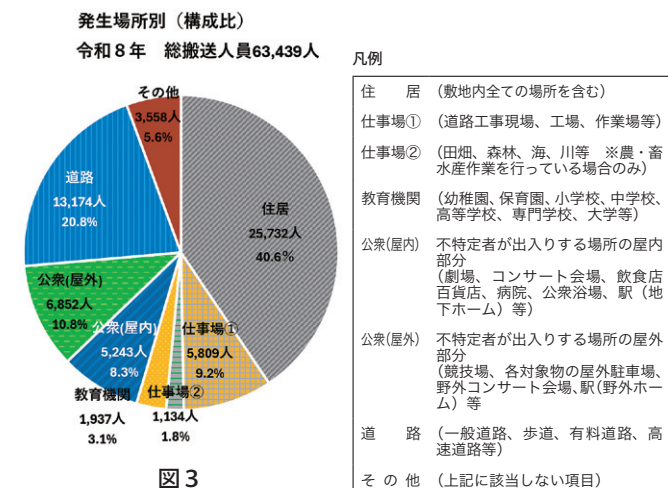


図3

④ 都道府県別の救急搬送人員（図4）

5月1日から8月16日までの熱中症による救急搬送人員の合計63,439人のうち、大阪府が5,277人と最も多く、次いで東京都5,118人、愛知県4,266人、埼玉県3,614人、兵庫県3,414人となっています。

⑤ 週別の救急搬送人員（図5）

週別の救急搬送人員は、6月までは100~1,400人前後で推移していましたが、7月から急増し、7月13日の週は今年初めて10,000人を超え、7月20日の週は、18,000人以上となっています。

都道府県熱中症による救急搬送員

前年同時期との比較（累計：5月1日～8月16日）

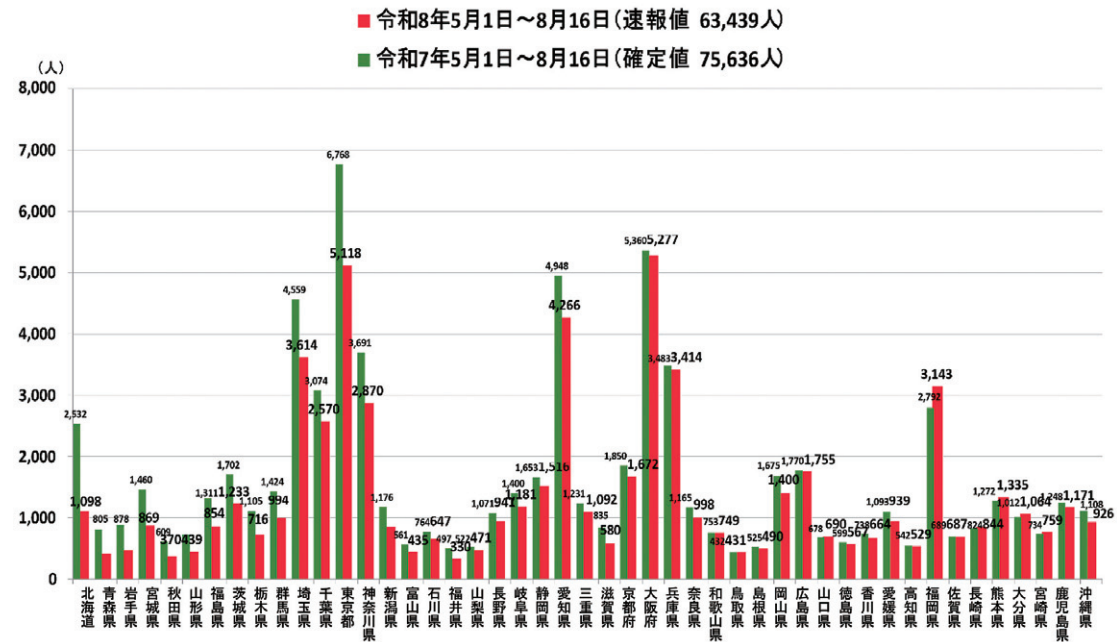


図4

熱中症による救急搬送人員（週別推移）

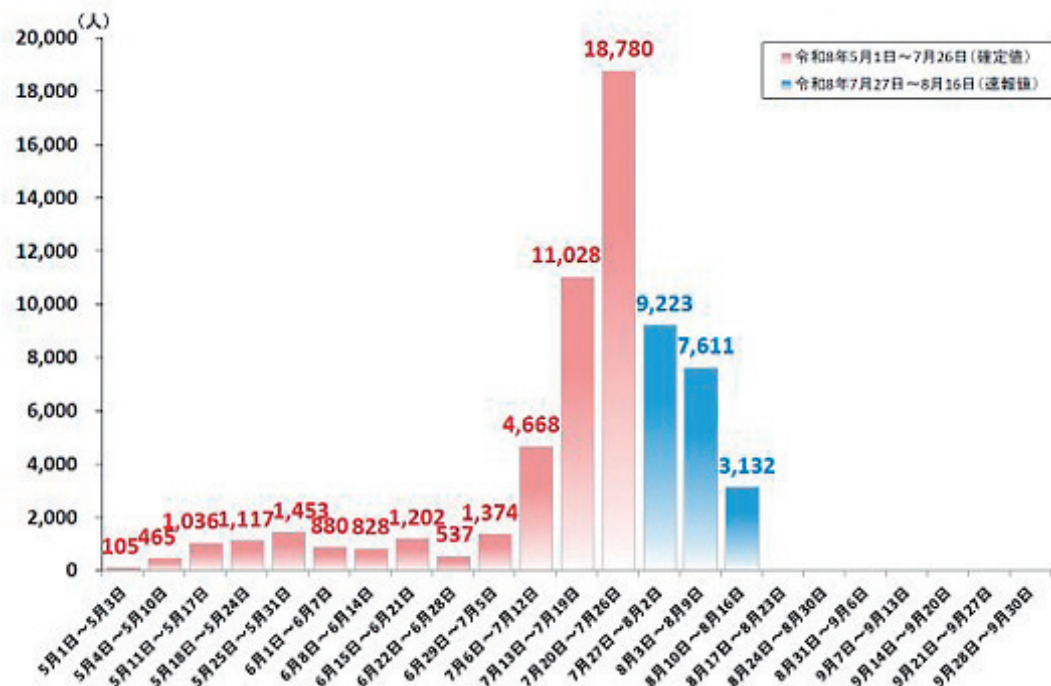


図5

3 消防庁における取組

消防庁では、熱中症予防啓発の取組として、全国消防イメージキャラクター「消太」を活用した熱中症予防啓発ポスターや熱中症対策リーフレットを毎年作成し、ホームページに掲載しているほか、消防庁Xを通じて、熱中症予防に関する呼び掛けを発信しています。また、「熱中症予防強化キャンペーン」として、関係府省庁と連携し、熱中症予防の普及啓発や注意喚起等の広報活動を実施しています。



【ポスター】



【消防庁Xでの広報】

4 熱中症予防のポイント

東京都監察医務院が公表しているデータでは、東京都23区で令和2年から令和7年までの熱中症による死者数（6月から9月）の約75%が70歳以上の高齢者で、熱中症による屋内死亡者数のうち、約84%がエアコンを使用していませんでした。熱中症を予防するために、改めて以下の項目を心がけて下さい。

- ・のどの渇きを感じる前のこまめに水分補給・塩分補給をする
- ・部屋の温度に注意してエアコン・扇風機を有効活用する（エアコンが使用できないときは、水や冷えたタオルを肌当てて、体を冷やす）
- ・「熱中症警戒アラート」発出時はできるだけ外出を控える

5 おわりに

熱中症は正しい知識を身につけることで未然に防ぐことができます。令和7年9月の熱中症による救急搬送人員は9,766人であり、今年の9月も熱中症予防対策が重要です。

消防庁では、全国の消防本部や関係府省庁と連携をとりながら、引き続き熱中症予防啓発に努めていきます。

【参考】消防庁熱中症情報

<https://www.fdma.go.jp/disaster#anchor--07>

【参考】東京都監察医務院 夏の熱中症死亡者数の状況

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/kansatsu/heatstroke>

問合せ先

消防庁救急企画室 辻、松田、出口
TEL: 03-5253-7529